

伊豆半島観光情報サイトリニューアル事業 業務委託仕様書

1 委託業務名

伊豆半島観光情報サイトリニューアル業務

2 委託期間

契約締結の日から令和4年3月31日（木）

3 業務の目的

（一社）美しい伊豆創造センター（以下「当センター」という。）では平成17年より伊豆半島観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」を制作し、情報発信をしている。この間に、スマートフォンの普及や情報収集の手段としてのSNS利用の増加、訪日外国人旅行者のFIT化の加速等といった社会情勢の変化が生じている。

本業務では上記を踏まえた上で当該サイトのリニューアルを実施し、現在のユーザーにとって見やすく利用しやすいサイトを実現することにより、日本国内のみならず、諸外国に対する伊豆半島の観光情報発信能力を強化することで、伊豆半島の認知度向上及び観光情報の発信強化を図ることを目的とする。

4 委託業務の内容

（1）業務内容

伊豆の認知度及び旅行者の利便性・満足度の向上に資する情報の発信を行うため、一からサイト全体の設計をおこない、現代の旅行者のニーズや嗜好を踏まえたウェブサイト（日本語・英語・繁体字）を制作する。なお、伊豆の魅力を効果的に伝え、来訪意欲の向上に繋がるコンテンツを通じて観光消費額の増大に寄与する機能も盛り込むこととする。

（2）構成

新しく制作するサイトは、原則、**別紙2-1**「サイト構成コンテンツ案」の全ての項目を含む構成であること。ただし、伊豆の魅力をより効率的に発信できるものや、ユーザーがより効率的に情報収集できるものがあれば提案すること。

また、サイト公開後のコンテンツ拡充やカテゴリの追加等を考慮し、柔軟な拡張性を持つものとし、令和4年度以降に行う拡充等についても提案すること。なお、令和4年度における拡充コンテンツについては、**別紙2-2**の内容を検討している。

5 サイト設計業務

新サイト制作に向けて主に次の業務を行うこと。内容については協議しながら決定するものとする。

（1）サーバ及びドメインの調達

（2）web 戦略の検討及びその進め方の提案及び業務に実施

- (3) 掲載コンテンツや基本情報の収集及び整理
- (4) 取材や情報収集、写真撮影が必要な箇所の抽出
- (5) トップページやコンテンツの詳細設計・ワイヤーフレーム作成
- (6) 繁体字サイト及び英語サイトの作成
- (7) 多言語周遊ルート案内サービス「Japan Consierge」の導入
- (8) 特集ページや記事系コンテンツの企画提案
- (9) 基本設計書及び詳細設計書（「サイト作成」業務仕様書）の作成
- (10) サイト制作スケジュール、役割分担表の作成
- (11) 定期的なミーティングの開催と議事録作成
- (12) その他、サイト制作業務に向けて必要な準備

6 サイト制作業務

(1) 全般要件

①構成、操作性

伊豆半島の観光情報に関するポータルサイトとして、当該情報を求める閲覧者に対し、伊豆半島各地の観光情報を横断的に提供するとともに、サイト内の回遊性向上及び（一社）美伊豆会員市町等サイトへの送客を図る工夫がされていること。

なお、基本情報は適切で分かりやすい分類を行い、一覧ページは、並び替えやレイアウトの変更操作ができるようにすること。

②デザイン

時流を捉えた見栄えのするデザインで、あらゆる世代に見やすいように工夫すること。また、適切なレイアウトや読みやすいフォントの仕様など、ユーザビリティに配慮し、直感的に操作が行えるよう、イメージに沿った配色やアイコンを活用すること。

③グローバルナビゲーション

ナビゲーションメニューは、**別紙2-1**「サイト構成コンテンツ案」内の項目を想定しているが、ユーザーが効率良く目的の情報にたどり着けるアイデアがあれば提案すること。

④コンテンツの作成

サイト内のコンテンツは、基本的に**別紙2-1**「サイト構成コンテンツ案」に含まれるものを全て採用すること。また、ライティングの工夫、写真の効果的な活用、利便性の高い機能を設定するなど、ユーザーへの訴求力を高めるとともに、伊豆地域ならではの強みである観光素材については、別途、特集ページやモデルコースを作成するなど、よりユーザーの目に留まりやすく、その魅力が十分伝わるようにすること。

⑤多言語化の対応

国外に向けた伊豆半島の包括的な情報発信のため、繁体字サイト及び英語サイトを作成すること。当該サイトは、情報発信の対象となる国及び地域住民への訴求力を持つデザイン及び内容とすること。

⑥モバイル端末への対応強化

スマートフォン、タブレット等、モバイル端末向けページは、PC サイトと連動し、自動で最適化が行われること。また、トップページを含む全ての閲覧ページは、PC、スマートフォン、タブレットのいずれの端末で閲覧しても見やすい使用とすること（レスポンシブウェブデザインでの制作）。

また、モバイル端末への対応が可能で利便性を高める機能があれば提案すること。

⑦多言語周遊ルート案内サービス「Japan Consierge」の導入

株式会社まちづくりプラットフォームが提供する多言語周遊ルート案内サービス「Japan Consierge」を PC サイトサイト及びモバイル端末向けページに組み込むこと。サイトへの組込当該委託契約の費用内で行うこと。

⑧データの掲載

収集及び整理したデータは、受託者によって入力を行うこと。

(2) コンテンツに関する要件

別紙 2-1「サイト構成コンテンツ案」に基づき、委託者と協議しながら各機能やコンテンツの詳細を決定することとする。

(3) CMS に関する要件

- ・HTML の専門知識がなくても、簡易な操作マニュアルがあれば、新規情報の作成、編集等の更新作業ができること。
- ・当センター職員のうち、システム管理者は、管理者用 ID とパスワードで認証し、管理者用メニューへログインできること。
- ・システム管理者は、当センターの職員等への入力者用 ID、パスワードを発行し、入力者専用メニューへログインできるようにすること。また、管理者は、個別に入力者用 ID における権限が制御できるようにすること。それぞれの権限については委託者と相談の上、決定する。
- ・蓄積された各種情報（データベース）について、管理者専用メニューより、CSV 形式によるダウンロードが可能であること。
- ・閲覧者及び管理者端末からの利用は、一般的に広く採用されている Microsoft Windows や Mac OS に最新版の Microsoft Edge、Internet Explorer、Google Chrome、Fire Fox、Safari などのブラウザがインストールされた PC 端末、又は Android、iOS などの OS に最新版の標準ブラウザがインストールされたモバイル端末に対応すること。

(4) ドメインに関する要件

ドメイン及びサーバ環境については新たに構築する。

(5) サーバ及びセキュリティ要件

- ・サーバは外部のデータセンター（日本国内に所在し、当該データセンターの運用事業者は、当該データセンターを対象に、ISO27001 又は同等の認証を取得していること。）に設置されたセキュリティの高いサーバとし、当該サーバはインターネットと常時接続（1Gbps）していること。また、サーバは 500 件程度の同時

セッションに耐えられること。

- ・不正侵入、改ざん防止、セキュリティパッチ等の適用を含み、サーバ証明書の更新
その他 WEB サイトの運用に必要な一切のセキュリティ対策を行うこと。
- ・サーバのディスクやメモリについては、リニューアル後の日常的な増加やアクセス数を考慮し、十分な領域と要領を確保すること。また、将来、必要に応じてディスクやメモリの増強ができる仕様であること。
- ・サーバ及び管理者用端末、利用者用端末の間でのプログラム、データの受け渡しは、サーバ証明書を新たに発行した上で HTTPS 方式による暗号化通信により行うこと。また、WEB サイトの保守をリモートで行う際のサーバと端末間のプログラム、データの受け渡しは、暗号化に対応した形式で行うこと。
- ・CGI プログラムには、SQL インジェクション対策、クロスサイト・スクリプティング (XSS) 対策等の脆弱性対策を講じること。
- ・サイト公開までの期間は、受託者側で開発用テストサーバを用意し、動作確認やデモンストレーションは同サーバ内で行うこと。

(6) その他要件・留意事項

①写真素材の作成

トップページ、特集ページ、モデルコース等において、ユーザーの来訪意欲を高めるため、主要な観光スポットについてベストシーズンに撮影した美しい風景写真や、モデルを使用した臨場感が伝わる写真を委託者と協議の上、複数枚撮影すること。

なお、本業務で撮影した写真素材についての著作権（著作権法第27条および第28条に規定する権利を含む。）は委託者に譲渡し、著作者人格権を行使しないものとする。

②特集ページ等の企画

委託者と企画内容を協議の上、新規に特集ページ2種類以上作成すること。

③SEO 対策

全てのページにおいてページのタイトルや見出し（キャッチコピー）は画像ではなくテキストを使用し、title タグ、h1 タグ、meta description など、検索エンジンへの情報通知に有効と判断されるものについては、適切なテキストを埋め込むこと。また、本文のライティングの際は、ユーザーが検索で入力するとと思われるキーワードを効果的に含めること。ただし、検索エンジンにスパム行為と判断されるような記述を行ってはならない。

④SNS との連携

Facebook や Twitter、Instagram など、現在一般的に広く利用されている SNS のソーシャルプラグインを配置し、サイトで発信する情報が拡散しやすくなるようにするなど、SNS との情報連携を強化すること。

⑤API の利用

情報登録や更新の手間を省くため、他社 API で、ユーザーの利便性が高く、長期で利用できるものについては積極的に提案すること。

⑥Google Map、YouTube の活用

Google Map を利用し、観光スポット間のルート案内、GPS を活用した現在地からのルート検索機能に対応すること。また、観光スポットのうち YouTube 等に動画があるものについては、サイト内のコンテンツにおいて幅広く活用すること。

⑦ページ表示速度短縮

公開前に Google PageSpeed Insights などを使用してサイト全体のチェックを行い、表示速度が遅いページについては、画像の最適化、ソースコードの修正などの改善を行い、利用者がスムーズにページを表示できるよう対処すること。

⑧サイト内でのナビゲーション

ユーザーがどのページにアクセスしているかをすぐに把握できるよう、各ページには統一したデザインのグローバルナビゲーションやページ位置確認機能（パンくずリスト）を表示させること。また、スクロールが長くなるページには、「ページ先頭へ戻る」ボタンを設置すること。

⑨アクセスログ解析

全てのページソースに対し、Google のアクセス集計分析システム「Google アナリティクス」を利用してアクセスログの解析を行うこと。

⑩動画再生方法

サイト内で動画を再生する場合には、YouTube などの外部の無料サービスを利用することとし、サーバに動画データを保存しないものとする。

⑪多言語化の対応

繁体字サイト及び英語サイトの文章制作は、当該言語のネイティブ又はそれに準ずる能力を有するものに行わせること。

⑫多言語周遊ルート案内サービス「Japan Consierge」の導入

株式会社まちづくりプラットフォームが提供する多言語周遊ルート案内サービス「Japan Consierge」を PC サイト及びモバイル端末向けページに組み込むこと。サイトへの組み込みについては、本委託契約の費用内で行うこと。

⑬「伊豆バリアフリーガイド」へのバナーリンク貼付け

現在、ゆうゆうネット伊豆に掲載している「伊豆バリアフリーガイド (<http://izu-trip.com/bf-ud/>)」へのバナーリンクを設置すること。

7 システムの運用要件

- ・障害時やメンテナンス時を除き、24 時間 365 日の連続運用を前提とし、安定的に稼働すること。
- ・メンテナンス作業に伴う計画停止及び時間外の停止は、原則、深夜 0:00～翌朝 6:00 までの間に行うこと。
- ・重要な機器については、停電の際などの予備機器や落雷時などの過電流保護対策などを十分に考慮すること。
- ・原則、毎日データのバックアップを行い、障害が生じた場合は、最悪でも前日データバックアップ次点までのデータを回復すること。

- ・必要に応じて、システム（CMS パッケージ等）の定期的なプログラム更新、セキュリティパッチの適用を行うこと。
- ・システムの運用状況について定期的に報告を行うこと。

8 保守・管理業務の要件

サーバ及びシステム保守の内容は以下の仕様とする。

(1) サーバ保守

- ・サーバのメンテナンス（動作確認、最適化及びクリーニング）
- ・ユーザー及びアクセス権限の管理
- ・環境設定（最小限必要なソフトウェアのバージョンアップ等を含む。）
- ・ドメインの管理
- ・SSL サーバ証明書の設定・管理
- ・セキュリティ対策（ウイルス対策、不正侵入・改ざん防止対策等）

(2) システム保守

- ・システム（CMS）の保守及びメンテナンス
- ・ページ表示の不具合、FTP エラー、管理画面、システムバグ対応等
- ・定期的なメンテナンス、セキュリティパッチの適用
- ・OS、ブラウザのバージョンアップに伴う最適化
- ・日常的な運用に伴う軽微な修正作業（管理画面を含む。）

(3) バックアップ・復元

- ・データの定期バックアップ作業（1日1回以上）
- ・緊急時のデータ復元作業

(4) システム障害対応

- ・障害発生時の復旧対応（原則1時間以内に初期対応を実施）
- ・障害の原因調査及び報告

(5) サポート対応時間

平日 8:30～17:15（土日祝日、年末年始の休業日等は除く。）

ただし、システム障害等、緊急性を伴うものについては、時間外においても対応を行うこと。

9 研修会の実施

- ・サイト公開に先駆けて、当センター職員等の関係者を対象に、新サイトの機能紹介と操作説明を含めた研修会を実施すること。